

2011年3月18日

東信医療生活協同組合

事務局通信

東日本大震災

3名は、外来・病棟で活躍中！

坂総合病院から仙台市泉病院へ

3月18日8時30分より、坂総合病院で朝のミーティング後、大池さん、清水さん、古市さんの3名は、仙台市泉区にある泉病院（坂総合病院から約10km）に移動し、支援活動に入りました。大池さんと古市さんは、病棟チーム、清水さんは外来を担当しました。

現地は、ガソリン不足が深刻で、いつ来るかわからないタンクローリーを待つ車が長蛇の列を作っている状況で、現地の職員が通勤する為のガソリンが無く、勤務態勢が組めないため、病棟は2交代制となっています。全国から寄せられた支援物資が、坂総合病院に集まってきていますが、車で被災した方々に届けられない状況です



清水さんより(18日18:00入電)

昨日、仙台に入る頃、テレビで見た映像そのものの、町が壊滅した状況が目には飛び込んできて、暮らしている人は大丈夫なのかと心配しました。

私は、外来を担当しましたが、救急車も数台入りました。また、地震のため、水漏れが激しかった部署の掃除や、来週から通常診療も始まるため、その準備なども手伝いました。

震災から1週間が経ち、ライフラインも大分復旧して、病院内は電気も通っています。食事は、友の会のみなさんの炊き出しによって暖かい物が入院患者さんに提供されていますが、地震のためエレベーターが壊れ、使えないため、職員が廊下に並んで1回から給食リレーで患者さんに届けています。3人は、体調も崩さず支援に励んでいます。大池さんは、今夜勤に入っています。

救援金活動を強めましょう

職員のみなさんの救援金に対する取り組みに、感謝申し上げます。まだ、本部に届いていない職場は、引続き取り組みを強めてください。また、患者・利用者・組合員に働きかけましょう。